

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 5 月 28 日 (2020.5.28)

【公開番号】特開 2018-42588 (P2018-42588A)

【公開日】平成 30 年 3 月 22 日 (2018.3.22)

【年通号数】公開・登録公報 2018-011

【出願番号】特願 2016-177287 (P2016-177287)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 4 9 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 4 月 16 日 (2020.4.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

抽選結果に基づいて演出表示装置における演出の進行を制御することができる演出制御手段が保護ケースに收容される遊技機であって、

前記保護ケースには導電性を備えた金属板を備え、

前記演出表示装置の後面は金属で構成されたシールドとされており、

前記金属板は、少なくとも一部が前記保護ケースの外部に露出するかたちで前記保護ケースに設けられ、

前記保護ケースが前記遊技機へ装着されると、前記金属板と前記シールドとが導電性弾性部を介して電氣的に接続されることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

(解決手段 1)

抽選結果に基づいて演出表示装置における演出の進行を制御することができる演出制御手段が保護ケースに收容される遊技機であって、前記保護ケースには導電性を備えた金属板を備え、前記演出表示装置の後面は金属で構成されたシールドとされており、前記金属板は、少なくとも一部が前記保護ケースの外部に露出するかたちで前記保護ケースに設けられ、前記保護ケースが前記遊技機へ装着されると、前記金属板と前記シールドとが導電性弾性部を介して電氣的に接続されることを特徴とする遊技機。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

この遊技機では、抽選結果に基づいて演出の進行を制御することができる演出制御手段を保護ケースに収容している。この遊技機では、保護ケースには導電性を備えた金属板を備えている。また、演出表示装置の後面は金属で構成されたシールドとなっており、金属板は、少なくとも一部が前記保護ケースの外部に露出するかたちで前記保護ケースに設けられる。保護ケースが前記遊技機へ装着されると、金属板とシールドとが導電性弾性部を介して電氣的に接続される。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１０】

このように、本発明の遊技機では、導電性を備えた金属板とシールドとを導電性弾性部を介して電氣的に接続されることにより、演出制御手段への電磁波ノイズの影響を、金属板とシールドとにより低減することができる。したがって、電磁波ノイズによる影響を低減することができる。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１１】

本実施形態では、例えば、普通抽選結果、第一特別抽選結果又は第二特別抽選結果が抽選結果に相当し、図１１９の周辺制御ユニット１５００が演出制御手段に相当し、図１のパチンコ機１が遊技機に相当し、図１１９の金属製のシールド板１５４０が金属板に相当し、図１２３の演出表示装置１６００における金属製裏蓋がシールドに相当し、図１２３の導電性弾性部材１５４５が導電性弾性部に相当する。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１３

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正９】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１４

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正１０】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１５

【補正方法】削除
【補正の内容】